

那覇空港の総合的な調査へのご意見を募集しています！

募集期間
平成17年
8月1日から
9月30日まで

沖縄の空の玄関口、那覇空港。

国と県では、利用者が増加を続ける那覇空港について、その整備のあり方を検討するため、総合的な調査を実施しています。調査では皆さんの意見をいただきながら検討を進めていくパブリック・インボルブメント(PI)の手法を導入していきます。「那覇空港」を一緒に考えましょう。

※PIとは、一般的に政策決定や公共事業の計画決定において、地元住民などが意見を表明できる場を設け、その意見を計画に反映させていくことをいいます。

那覇空港が抱える課題

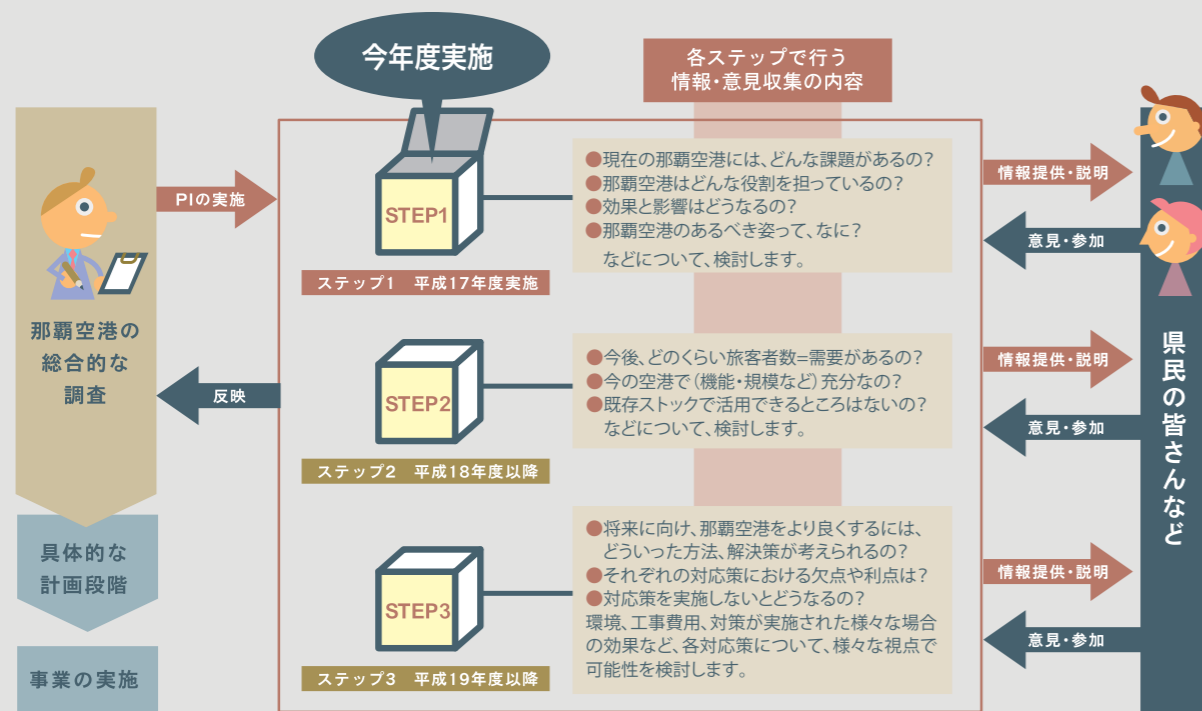
- ① 夏場の観光シーズンや年末年始などには、航空便の予約が取りにくくなっています。
- ② 昼間特定の時間帯に便が集中する特性があります。
- ③ 出発と到着の航空機が渋滞し出発や到着遅れが発生しています。
- ④ 滑走路が1本しかないため、さまざまな制約があります。
- ⑤ 現国際線旅客ターミナルビルの利便性の向上には限界があります。
- ⑥ 貨物施設は現ターミナル地区内での機能向上は困難です。



混雑する航空機

PIは調査の進ちょく状況に応じて3段階のステップで進めます。

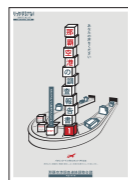
各ステップで行う情報・意見収集の内容



那覇空港の調査報告書を配布しています。ご意見をお寄せください。

【配布先】

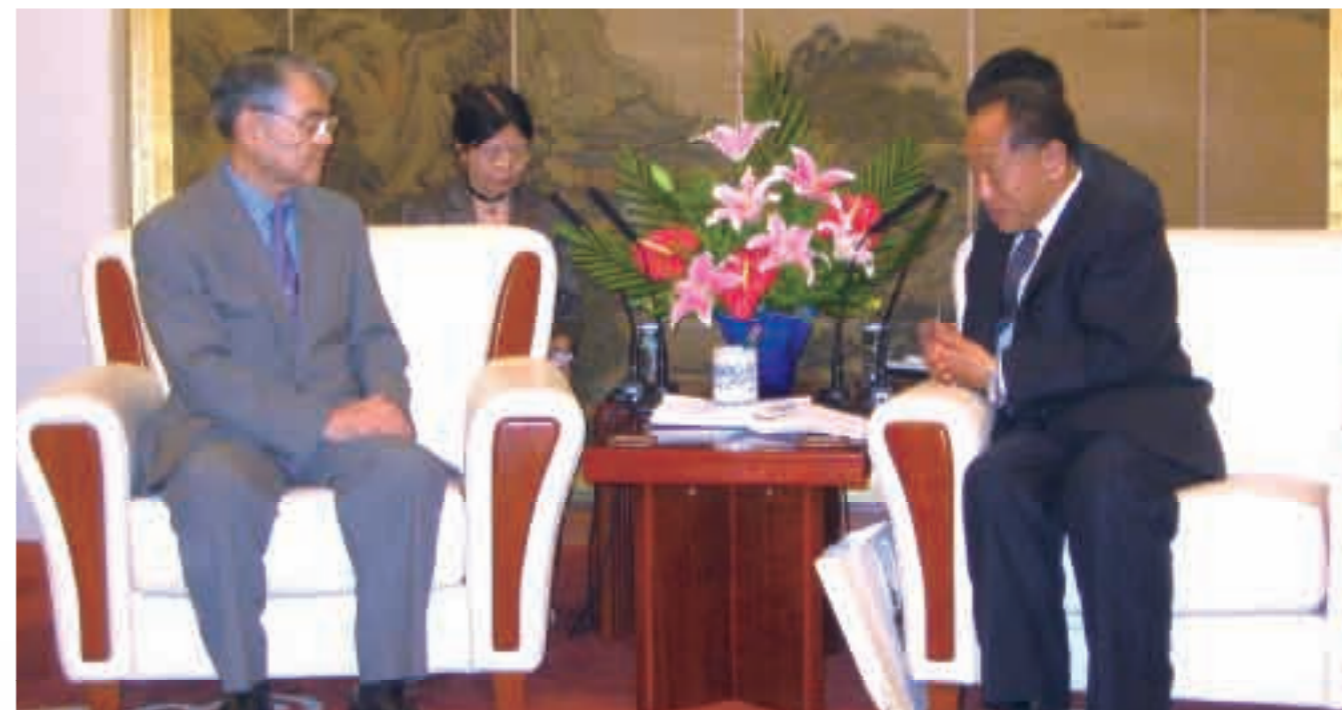
- 県交通政策課 ●県行政情報センター ●県行政情報センター北部分室
- 県宮古支庁行政情報センター ●県八重山支庁行政情報センター
- 国土交通省大阪航空局飛行場部空港整備調整課
- 沖縄総合事務局開発建設部空港空港建設課
- 那覇空港国内線総合案内カウンター



【ホームページ】

- 県交通政策課 <http://www.pref.okinawa.jp/koutsuu/kuukou-tyouseikaigi.htm>
- 沖縄総合事務局開発建設部 港湾空港建設課 <http://www.dc.ogb.go.jp/kyoku/index.htm>
- 国土交通省大阪航空局飛行場部 空港整備調整課 <http://www.ocab.mlit.go.jp/top.htm>

お問い合わせ 県交通政策課 TEL:098-866-2045 FAX:098-866-2448 e-mail:aa015500@pref.okinawa.jp



中国外交部の李肇星外相と会談する稲嶺知事



右端が渡久地上海事務所長



中国民用航空総局の楊国慶副局長と会談



現地旅行社に対し観光地沖縄をPR

中国市場へ新たなビジネス展開を図る

稲嶺知事や経済団体の関係者ら約70人は、沖縄県上海事務所の開所式参加と観光地沖縄のPR、上海⇄那覇間の航空路線の増便要請などを行うため、6月12日から17日まで中国(上海、北京)を訪問しました

上海市を中心に急速な経済発展を遂げる中国では、国外への観光意欲が高まっています。

県では、人口一七〇〇万人を抱え五年前から本県と定期航空路線を持つ上海市に、六月十四日、台北、香港、福州に次ぐ四番目の海外事務所を開所しました。市街中心地に位置するこの事務所を拠点に、現地の人々に観光地沖縄のPRを展開します。

今回の訪中では、現地旅行社三十三社に対し映像やパンフレットを用いて沖縄の美しい自然などを紹介。沖縄と現地の旅行社間では商談会も行われました。さらに、伝統芸能を通じて沖縄の魅力を伝えるイベントも実施し、今後の事務所の活動を盛り上げました。

また、稲嶺知事は、上海便の増便と北京便の新設を要請するため、十四日に国内十五都市とネットワークを持つ中国東方航空の万明武副社長と、翌十五日には中国外交部の李肇星外相と中国民用航空総局の楊国慶副局長と会談しました。

万副社長は、現在週二便である上海便を四便に増便する方針であることや上海經由北京便の開設を検討していると、李外相からも前向きに支持する意向が示されました。

上海事務所は、所長と現地採用職員二名の小さな事務所ですが、観光客誘致や経済交流の拠点となるべく活動を行います。